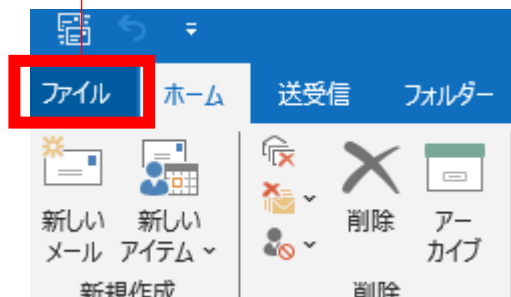


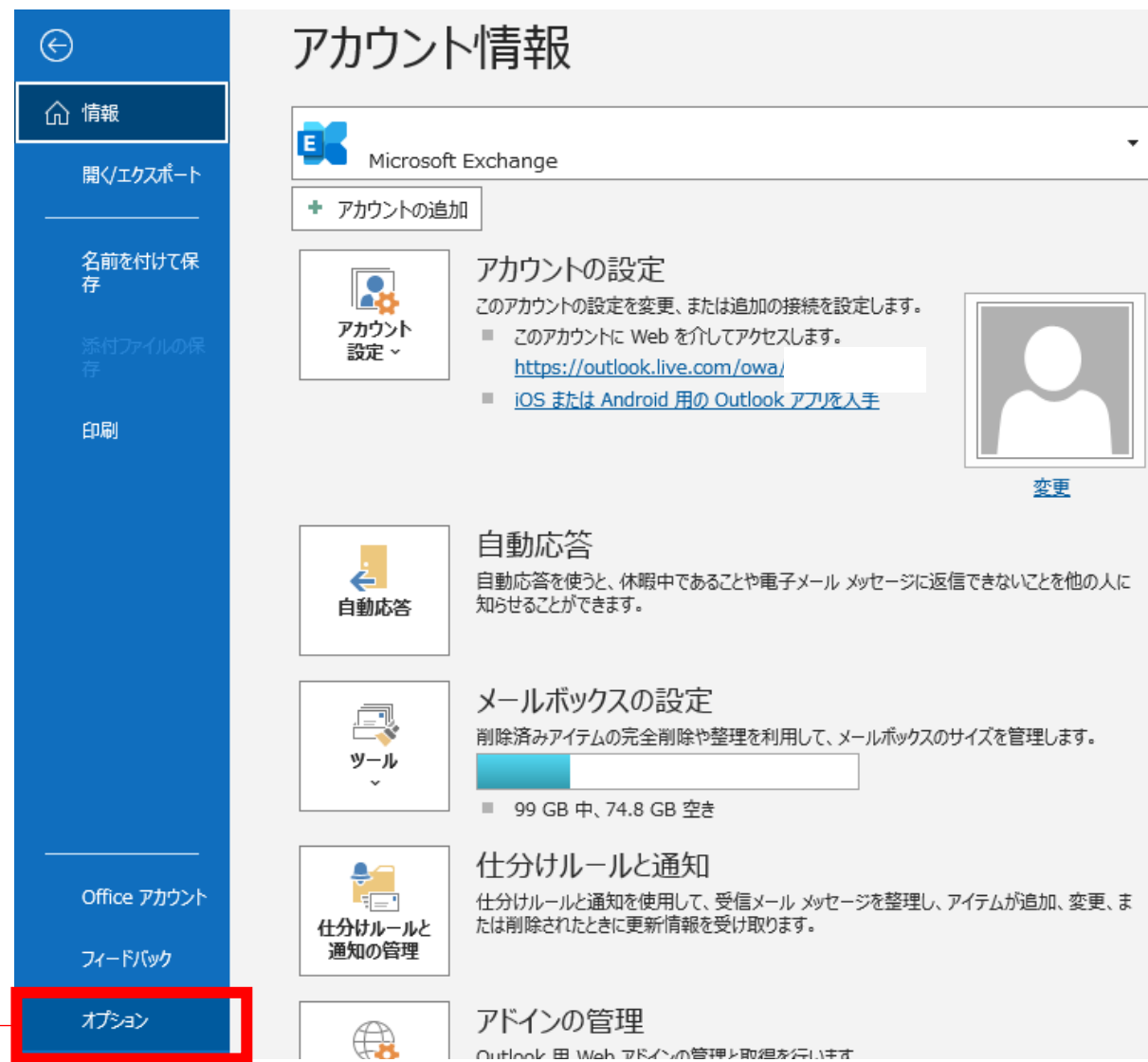
資料：HTMLメールを表示するための設定（テキスト形式の指定解除：Microsoft Outlookの場合）

メール環境においてメールの閲覧方式を「すべてテキスト形式で表示」と指定している場合、HTML版のメールがテキストとして表示されます。その際は以下の設定が必要になります。

① 「ファイル」をクリック



② 「オプション」をクリック



Outlook のオプション

- 全般
- メール
- 予定表
- 連絡先
- タスク
- 検索
- 言語
- アクセシビリティ
- 詳細設定
- リボンのユーザー設定
- クイック アクセス ツール バー
- アドイン
- トラストセンター**

ドキュメントを安全に守り、コンピューターを正常で安全な状態に保ちます。

セキュリティと詳細情報

Office.com にアクセスして、プライバシー保護とセキュリティに関する詳細をご確認ください。
[Microsoft トラストセンター](#)

Microsoft Outlook トラストセンター

トラストセンターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターできます。この設定は変更しないことをお勧めします。

③ 「トラストセンター」をクリック

④ 「電子メールのセキュリティ」をクリック

トラストセンター

- 信頼できる発行元
- プライバシー オプション
- フォームベースのサインイン
- 電子メールのセキュリティ**
- 添付ファイルの取り扱い
- 自動ダウンロード
- マクロの設定
- プログラムによるアクセス

電子メールの暗号化

- 送信メッセージの内容と添付ファイルを暗号化する(E)
- 送信メッセージにデジタル署名を追加する(D)
- 署名されたメッセージを送信する際は、クリア テキストで送信する(I)
- すべての S/MIME 署名されたメッセージの S/MIME 確認メッセージを要求する(R)
- 特定の接続エクスペリエンスによる S/MIME 暗号化メッセージの処理をブロックする

既定の設定(E):

デジタル ID (証明書)

デジタル ID (証明書) によって、電子取引における身分証明を行うことができます。

テキスト形式で表示

- すべての標準メールをテキスト形式で表示する(A)**
- すべてのデジタル署名とイリメールをテキスト形式で表示する(M)

フォルダー内のスクリプト

- 共有フォルダー内でスクリプトを許可する(L)
- パブリック フォルダー内でスクリプトを許可する(E)

⑤ 「すべての標準メールをテキスト形式で表示する」にチェック☑が入っている場合、チェックを外して下さい。

* メールを表示形式は、所属されている組織の環境、指針に基づいてください。